

庁議報告事項

開催日：令和3年7月26日(月)

1 岡崎市長から

- 高知県はコロナ感染症対応のレベルを「特別警戒」から「警戒」に引き下げた。夏休み・お盆休みを控え観光振興の取組も徐々に再開していくが、感染の根が断たれているわけではないため、引き続き十分な感染対策を行うこと。また、4連休中は市内の宿泊施設がほぼ満室になるなど多くの人出があったため、今後の感染状況を注視すること。
- 8月7日から南別館をワクチンの集団接種会場として開設するが、状況に応じ職域接種やエッセンシャルワーカーへの優先接種など、県・医師会と調整しながら柔軟に対応すること。
- 高齢者の死亡・重症化リスクはワクチン接種の進捗もあり低下しているが、特に首都圏において若年層への感染比率が従前に比べて高くなっているため、今後、若年層の接種率等動向を注視すること。
- ワクチン供給量の調整を今後は国ではなく県知事が行うこととされたため、必要量を安定的に確保できるよう県と調整すること。
- 今年度の夏季大学も非常に良い講師陣をお迎えでき、受講率も高く、無事に終了した。
- 個人情報の取扱いに注意するとともに、事務処理ミスの防止を各部局で徹底すること。
- 高知県出身オリンピック選手の宮本葉月さんが、昨日のシンクロ板飛び込みで5位に入賞され、大変良かった。

2 中澤副市長から

- 4連休中に業務に従事された職員はご苦労様でした。
- 第70回目の夏季大学は、コロナ禍ではあったが、豪華な講師陣にご協力いただけるとともに、数多くの市民の皆さんに関心を持っていただけた。閉会式後、文化振興事業団に引き続いての協力を要請しているため、事業団との連携を継続すること。

3 松島副市長から

- 4連休中、コロナ対応など多岐にわたる業務への対応、お疲れさまでした。
- 本日からサマーレビューに向けて各部局から事前の相談を受けたが、これに限らず課題事項などがあれば日頃から気軽に相談してほしい。

4 各部局から

○ 報告事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症の患者の状況等について
(新型インフルエンザ等対策本部事務局)
- ・ 高知市推計人口データについて
(総務部)
- ・ 第70回高知市夏季大学開催報告
(総務部)
- ・ 「人権・平和強調旬間」事業への参加及び期間中のワッペン着用について
(市民協働部)
- ・ リスク対応シートについて
(教育委員会)
- ・ 9月補正予算に係る市長査定の日程変更について
(口頭：財務部)